

令和3年5月25日
関東東北産業保安監督部東北支部

梅雨期及び台風期における保安対策の強化について

例年、梅雨期及び台風期は、各地で局地的大雨や集中豪雨が観測され、被害が発生しています。一昨年は、台風第19号による豪雨により、東北管内の鉱山において、処理原水の増加による未処理水の排出事故及び停電や薬剤等の資材搬入道路の崩落による坑廃水処理施設の機能維持が困難となる事態が発生し、また、昨年は、令和2年7月豪雨により、鉱山施設が浸水するなどの被害が発生しました。

今年も梅雨期及び台風期を迎えるに当たり、引き続き、下記の点に留意して保安対策に万全を期してください。

なお、鉱山等において風水害等による被害が発生した場合は、速やかに当支部に報告してください。

記

1. 気象状況の的確な把握及び必要に応じた巡視頻度の増加（巡視者の安全確保に配慮）
2. 緊急時における保安要員の確保及び監視の強化並びに連絡体制の確立及び周知（特に休日と夜間における緊急時体制の確立）
3. 応急資材の確保及び整備の強化
4. 露天掘採場の残壁、切羽及び貯鉱場等の崩壊・流出防止
5. 露天掘採場における排水施設の整備
6. 鉱山道路の点検の強化
7. 集積場、沈殿池等の崩壊・流出防止
8. 坑口及び旧坑口への既設系統以外からの雨水の流入防止（閉そく箇所を含む）
9. 坑内における排水施設の整備、湧水量の変化状況の把握
10. 坑廃水処理施設については以下の事項
 - (1) 清濁分離の推進
 - (2) 適切な集水・貯水及び処理能力の確保と維持
 - (3) インフラのレジリエンス強化（停電や道路不通などの不測の事態が発生しても、継続的に坑廃水処理施設の機能を維持するため、復旧対策及び手順の計画策定並びに設備・資材等の確保など）

（本発表資料のお問い合わせ先）

関東東北産業保安監督部東北支部

鉱山保安課： 的場 電話 022-221-4962

鉱害防止課： 谷尻 電話 022-221-4965

審査室： 佐藤 電話 022-221-4968